

鉛筆デッサン（3時間）

【問題】

机上のモチーフをデッサンしなさい。

【条件】

1. 答案用紙は縦横自由。
2. モチーフは必ずしも全体を描かなくて良い。

【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

【出題意図と評価のポイント】

幾何形態を基にしたモチーフを、それぞれが持つ特徴や材質感、形態のプロポーションといった基本を、確かな観察とデッサン力で魅力的に描けるか、また、ブルーシートの重なりや質感を、逃げることなく観察し、描こうとする意思の強さが感じられるかどうかを出題意図とした。



デザイン（3時間）

【問題】

「匂い」という言葉には配付した資料Aにあるとおり、様々な意味が含まれています。あなたがこれまでに経験したことがある「匂い」のイメージを配付された素材を用いて自由に色彩構成しなさい。

画面右上の与えられた枠内に20字以内で、どのような匂いかを記入しなさい。



【条件】

1. 配付された正方形（布、紙）の形の変形（折る、切る、破く、歪める、繰り返すなど）は自由。
2. 使用する正方形の数は自由。
3. 使用する色数は自由。
4. 描画画面は与えられた紙面全体とする。ただし紙の余白は白色とみなすので、必要に応じて余白部分があってもかまわない。
5. 答案用紙は横長で使用する。
6. 右上枠内の文字書き込み部分は塗りつぶさないこと。
7. 梱包材はモチーフではない。

【配付物】

1. 試験問題
2. 別紙（資料A）×1枚 出典：新村出編 『広辞苑 第六版』岩波書店、2008、2119-2120頁。
3. 答案用紙（B3セント紙）×1枚
4. 1辺20cmの正方形・布×2枚（綿×1枚、サテン×1枚）
5. 1辺20cmの正方形・紙×2枚（上質紙×1枚、トレーシングペーパー×1枚）
6. 下書き用紙（B4上質紙）×3枚

【出題意図と評価のポイント】

配付された紙2種と布2種を用いて、各自がイメージする「匂い」を色彩構成する問題である。匂いは物理的、具体的な形が存在しないことに加え、言葉に置き換えることも難しい現象である。しかし、匂いの種類や強さによって空間的なイメージを感じることもあれば、過去に感じた匂いの記憶からさまざまな状況が想起されることもあるだろう。また、配付した資料が示す通り、匂いは臭覚に限らず「香」「気配」「情緒」といった多様な意味をはらんだ言葉でもある。この問題では、曖昧で捉えどころがないように思える現象に対して、自身の経験にもとづきながら自由な発想と解釈によって、具体的な色彩、形態、構成へと置き換える力を求めた。また、配付した素材は加工の仕方によってさまざまな表情を見つげることができる。素材の特徴を「匂い」の構成要素へとどのように結びつけていったか、いわば観察から表現へと展開する力も見たいと考えた。採点は、20字以内で記述した「どのような匂いか」を踏まえながら、着眼点や発想力、色彩、形態、構成の適切さ、説得力や共感性などの視点から総合的に評価した。今年度の解答は素材の性質を十分に活用しながら、繊細かつ大胆に表現している作品が多く見受けられた。



教員コメント

ブロックの質感や形態にやや難があるが、ブルーシートやラ・フランスは的確に描写されている。シートの重なりや質感は、集中して観察し描かなければ、これほどの魅力的な表現にならなかったであろう。画面への収め方も申し分ない秀作である。



教員コメント

奥行きを表すには難しい場所から、ブロックの硬い質感、ブルーシートのガサガサした質感や折り目に見える繊維状の表情など、描くべきポイントを的確に捉えて描写しているよい作例である。ラ・フランスが画面から切れてしまった点が惜しい。



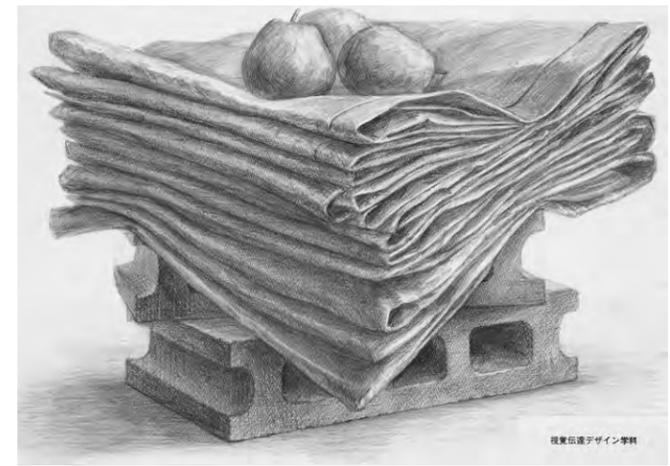
教員コメント

難しい位置から、大胆にトリミングし縦構図で大きさを感ぜさせるところがよい。輪郭線がやや強い描写だが、細部にまで神経が行き届いた好感の持てるデッサンである。ブロックの穴の暗部がシルエットになってしまったのが惜しい。



教員コメント

手前の描き込みや、ラ・フランスの立体感を見ると、作者の高い描写力を感じる。ただ、描写力を感じる分、奥がほとんど描かれていない点が勿体ない。



教員コメント

床に落ちるブルーシートの影や、モチーフ全体の陰影を丁寧に追っている。一つひとつの質よりも、モチーフ全体の立体感を大切にしてデッサンをしているように感じる。



教員コメント

逆光線で白黒のコントラストが効いていて、力強いデッサンとなった。ブルーシートの側面に強弱をつけた描写をすれば、より奥行き感が出ただろう。自然物であるラ・フランスの表情を、生き生きと捉え描くことができれば、さらによくなっただろう。



教員コメント

ブルーシートの重なる暗部の描写や、ブロックの表情に、作者の強い個性を感じる。難しい位置から縦構図で果敢に描いた点は評価できる。ブルーシートの躍動感はとても面白いが、折り目の上部を無理に画面に収めたため、窮屈になり、空間感を損ねている点は改善の余地があっただろう。



教員コメント

明るい調子を保ちながらも、ブルーシートの折れ方やコンクリートブロックの特徴を捉え、しっかりと描けている。ブルーシートの形を丁寧に追っている分、その描き込みが弱い点が気になる。



教員コメント

形の取り方に若干の不安を感じるが、コンクリートブロックの欠けや、ブルーシートの網目など、一つひとつのモチーフを丁寧に描いている点が評価できる。



教員コメント

3時間で描き上げようとする強い気持ちを感じられるデッサンである。ブロックやブルーシートの質感に執拗にこだわっている点や、ラ・フランスの特徴的な形態感を出そうと努力している点など、描くポイントを理解した総合的に力のある作例である。



教員コメント

独特のタッチと色合いを持ったデッサンと言える。モチーフそれぞれのテクスチャーを丁寧に描くことで、タッチと色合いに説得力が生まれている。



教員コメント

左奥から差し込む光が美しく描かれたデッサンになっている。光の入り方を含めて構図が考えられている点と、光を雰囲気だけで描いていない点に好感が持てる。



春の訪れを知らせるほのかに甘い匂い

教員コメント

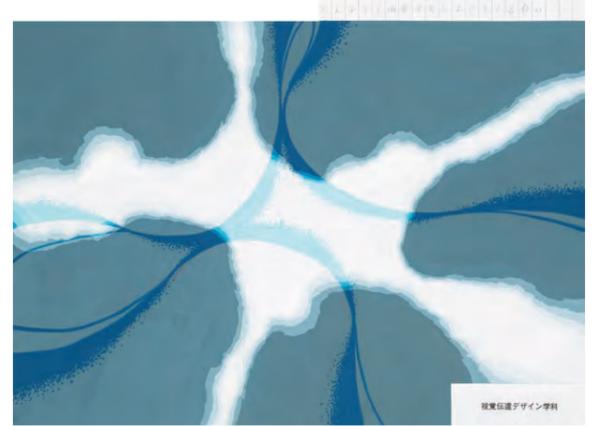
サテン布のなめらかさと光沢を巧みに取り入れた作品だ。柔らかな髪の毛の動きで穏やかな風を表現し、布の光沢にわずかに反射させた花びらのピンク色で桜の香りを想わせる。甘い匂いとともに春霞に包まれるような魅力もある。



気が合う人からは、
自分と同じ匂いがする。

教員コメント

漆黒の空間で、赤い触覚を持った布同士が互いを確かめ合うように触れ合っている。光と闇のコントラスト、背景に漂う布の青や緑のふちどりも効果的で、寓意に満ちたアイデアが、作者の優れた表現力を伴って美しく展開された作品となった。



どんよりと雨雲がおしよせてくる匂い

教員コメント

流麗な円弧と点描による空。そしてそれを覆う不安定な形の雲。それらが層を成して迫り来る。空と雲の「際」の表現は、雨が近いという「時」を表している。シンプルな平面構成だが、真上に向けられた視点が新鮮だ。



オープンあけたら
こうばしいクッキーの匂い

教員コメント

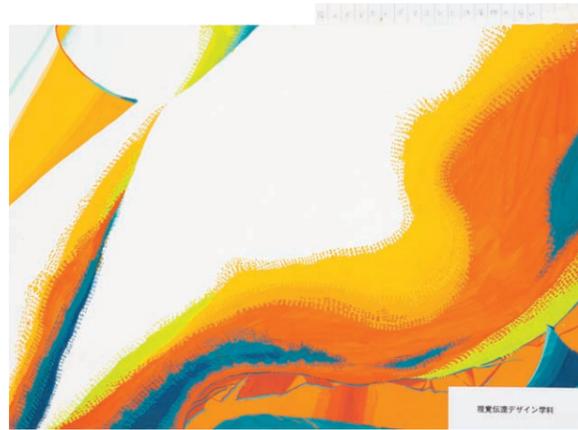
布の「ほつれ」を漂っている状態に見立てて、香ばしい焼き立てのクッキーの「匂い」を上手く表現している。またクッキーそのものを寒色系、漂う匂いを暖色系にすることで問題のテーマである「匂い」が上手く引き立っている。



花からかおる独特な匂い

教員コメント

背景の色によって、暗闇の中で嗅覚が研ぎ澄まされていくイメージを画面全体に与えている。モチーフの布の糸の動きが静かにそよ風を、布の髪とグラデーションの構成が、花が開いて匂いを運んでいく時間をも感じさせる作品だ。



陽の光をたっぷり浴びた洗濯物の匂い

教員コメント

中央に大きく残された白い空間が黄色からオレンジへと変化して、寒さを押しつけて広がる日差しの暖かさを感じさせる。大胆な色面構成とその境目に見られる繊細な細かな描写が、表題と響き合って観る者の共感を呼ぶ。



柔軟剤と少しだけするタバコの臭い

教員コメント

柔軟剤とタバコという相反する二つの匂いを同時に知覚する経験が、独特な暖色と寒色の組み合わせ、ランダムな曲線によって表現されている。不可視的な匂いの表現のアウトラインに紙の形状を用いることで、現実世界と感覚世界の対比的確に表現できている。



穏やかな海風に運ばれる潮の匂い

教員コメント

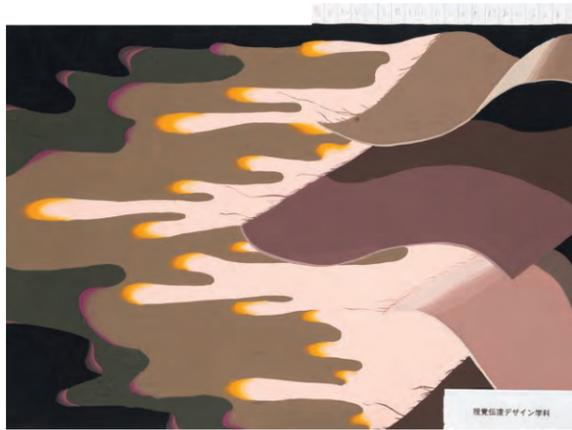
紙という物質が持つ、有機的な形状変化の豊かさから、穏やかな潮の匂いを連想し表現した作品。ゆっくりとうつろいながらも、跳ね上がり、たまに鼻の奥を刺激するような独特の匂いを、的確な色の選択と構成によって、観る者に伝えることができています。



台所からふわりと香る夕食の匂い

教員コメント

周りを寒色系、真ん中を黄色を基調とした暖色系にすることで、外の暗さや寒さとは関係なく、家の中の夕食を囲む明るく楽しそうな様子が見えて、暖かくておいしそうな匂いを感じる。また、白い湯気のようなものが舞っていることで、こちらにまでその匂いが漂ってくるようである。



髪がなびいて
甘いにおいがただよい消える。

教員コメント

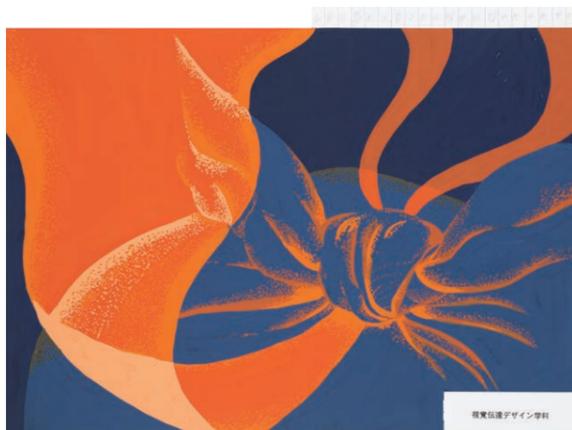
配付された布と紙は、風になびく髪に見立てられ、消えゆく匂いは明彩度の低い色に置換されている。その匂いは「香」のかおりであろうか。夕暮れの街角を着物姿の女性が足早に歩く様を想起させる表現となっている。



炭酸飲料のようなさわやかさ

教員コメント

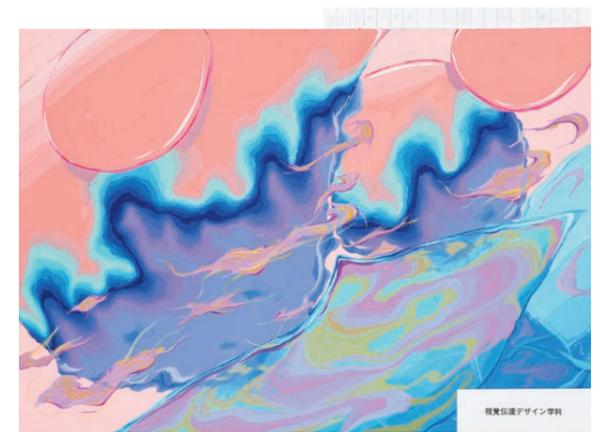
素材から有機的な形状を発見し形態として用いることでダイナミックな構成を実現している。青を基調とした色彩、拡散していく構成や透明感が「爽やかさ」という感覚を伝えていく。とくに形態が空間に溶け出ししていく点描表現は秀逸。



お弁当袋から漂う
まだ暖かい匂いにそわそわ

教員コメント

色数を限定し、ネガ表現を用いたことで画面全体から独特の緊張感を感じる。匂いの発信源である結び目は空腹に堪える作者の心理をも表しているのだろうか。染み出し漂うやわらかな形態が、食欲を誘う匂いの特徴を伝えている。



冷し忘れたスイーツは
腐った匂いを放った

教員コメント

甘く魅了されるスイーツが鼻を刺すような腐敗臭によって侵食されていく。練られた配色と、丹念に塗り重ねられたグラデーションによって徐々に進む腐敗の時間経過、そこに渦巻く臭いが効果的に描かれている。



部活後の臭いを拭き取っていく匂い

教員コメント

部活後の滴る汗をモノクロームで平面的に描き、潔白のシートを爽やかな色で空間を舞うように配置することで、ベタリとした不快な「臭い」と爽やかな「匂い」の異なるイメージを上手く対比させて構成している。



思わず誘われてしまうような
花の蜜のにおい

教員コメント

手前のピンク系の暖色のグラデーションは蜜の甘い香りを感じさせ、その向こうには花卉のようなものが見えている。構図は動的であり劇的だ。嗅覚的なものと視覚的な見立て表現のバランスが秀逸。



じめじめした不快な
カビのにおいに顔が歪む

教員コメント

カビが直接描かれているわけではないが、袋状に何かを覆っているような青灰色系の歪んだ暗い調子が、その不快さと謎めいた存在を暗示している。大胆な解釈とアプローチが際立った作品。